

# 令和 5 年度 吹田市乳がん検診精度管理委員会 要旨

## 1 開催日時

令和 6 年 2 月 10 日(土) 午後 2 時 30 分から午後 3 時 30 分まで

## 2 開催方法

「ZOOM ミーティング」を用いた対面と Web 開催(事務局:吹田市成人保健課)

## 3 出席委員(順不同)

相馬孝 委員 辻井健一 委員 吉岡節子 委員 佐藤七夕子 委員 北條茂幸 委員  
吉岡泰彦 委員 古川順康 委員 川西克幸委員 濱田未佳 委員 狭間礼子委員

## 4 欠席委員

なし

## 5 市出席者

健康医療部成人保健課

課長 村山靖子 主幹 川見知佳 主査 上田雅子 主査 飯田郁 係員 上島千佳

## 6 内容

(1)委員紹介・事務局紹介

(2)委員長の選出

古川委員に決定。

(3)報告事項

令和 5 年度 吹田市乳がん検診実施状況について【資料 1、資料 2、資料 3、資料 4】

**A 委員**

令和 4 年から画像がデジタル化され、要精検率が上がっている。

**B 委員**

デジタルとアナログでは画像が違うため、比較読影がきちんとできなくなる。比較読影の画像もデジタルになれば要精検率は落ち着いてくるだろう。

**A 委員**

乳がん検診チェックリストで撮影を行う技師や医師が講習会を終了していない医療機関が 2 施設あった。それぞれの施設で講習会の受講を進めてもらう必要がある。

**C 委員**

精密検査の未受診と未把握の人について、引っ越して連絡がとれない等、何か傾向はあるか。

**事務局**

未受診では自覚症状がないから精密検査を受診しないという人がいる。また未把握の人については予測にはなるが精検結果報告書を持参せずに受診されている人もいると考える。

**C 委員**

今後も把握していけるように努力する必要がある。本人が報告してくれれば把握できるが、本

人しだいで難しいところもある。

**B 委員**

マンモグラフィ実施医療機関別受診状況において、要精検率が高い医療機関は何かあるのか。

**D 委員**

協力医療機関になってからの期間が短く初回受診者が多いことが要因と思っている。ただし、一次読影でカテゴリー3以上(要精検)の比率は多いが、二次読影でカテゴリーが1や2になることはあまりない。

**A 委員**

検診で視触診を実施することはプレストアウェアネスを広める一助になっている。

**B 委員**

視触診が問題なしでマンモグラフィを受けない人はいるのか。

**D 委員**

保健センターで把握できる状態になっており、ほぼ皆マンモグラフィを受けられている。

**B 委員**

他市では視触診を実施しなくなったところや選択制のところがある。視触診だけを受診してマンモグラフィを受けない人が多くなるため視触診を廃止するところもある。

**事務局**

本市については、まだ十分検討できておらず今後検討していく必要性を感じている。プレストアウェアネスの啓発を今のうちに進める必要がある。

**E 委員**

視触診は必須項目ではないので、なくてもいいが、続けることでのメリットはあるだろう。

**F 委員**

今の方法で不条理なことはないので、積極的にやめた方がいいという意見は持っていない。

**G 委員**

判断が難しいが、視触診時に「どんな時に病院に行ったらいいか」等の質問がある時は、プレストアウェアネスについてのコミュニケーションができています。

**A 委員**

各委員からの意見から、今のところ視触診は残していいだろう。

**D 委員**

視触診をなくすと市民が検診を受ける入り口を減らしてしまうことになるので、簡単にはやめられない。

**C 委員**

視触診で乳房を触られることが嫌な人はマンモグラフィのみを希望される人もいると思う。視触診をやめたら検診受診率は上がるか。

**B 委員**

視触診をなくした市町村で各段に受診率が上がったというデータはない。ただ、健診が1回で済むというメリットはある。

**A 委員**

二次読影を実施している先生が高齢となり、人数が少ない。増やすための方法を検討する必要がある。

**D 委員**

二次読影体制においても専用 USB を利用した方法で医師が保健センターに来なくても二次読影を実施できるようにしてはと考える。ただ、読影する医師が多忙で滞ってしまう可能性が

ある。遠隔で読影を実施している市もあるので、今後、最終的にはそれも含めて考えていく必要がある。

**事務局**

精度管理指標が今年からかなり厳しくなっている。府内の市町村でも要精検率等を基準値の範囲内にすることが難しくなるのではないか。

**B 委員**

特に要精検率は厳しくなっている。読影医が注意していくしかない。

(4) その他意見交換

乳がん検診研修会について

**C 委員**

乳がん検診に関係する先生方や技師も含めて全員で研修を受けることになっている。今年度はラジオ波について研修予定、撮影に関する研修は会場が確保できず来年度に 2 回実施予定、読影は現在試験問題を作成中で完成したら各施設等で自己研鑽をしていただく。今後も 3 つの研修を続けていく。